

幾何学（藤岡敦担当）演習について 2011年7月8日

7月15日以降の授業は演習の時間とする。

演習は次の要領で行う。

- 「演習問題」の中から自由に問題を選び、黒板を使って説明する。
- 黒板に解答する問題は一人当たり小問一つまでとする。
- 必要に応じて「略解またはヒント」を参考にしてよい。
- 前の小問を解かずにそれを用いて、後の小問を解いてよい。
- 別解であれば、既に解答された問題を解いてよい。
- 解答を黒板にすべて書き終えてから説明してよい。
- 板書しながら説明する場合、黒板に解答する問題番号、学籍番号、名前を最初に書いておく。
- 問題を正解し、質問に無事答えることができれば、その問題を解いたとみなす。
- 難易度に関係なく、小問一つを解く毎に成績に参入する。